

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成 29 年度第 1 回 理事会議事録

【開催日時】平成 29 年 3 月 25 日（土曜日）13:30～16:00

【開催場所】ステーションコンファレンス東京 5 階 503 - A

【出席した理事】田口敏彦、岩崎幹季、大川 淳、川上 守、種市 洋、徳橋泰明、中村博亮、
中村雅也、根尾昌志、波呂浩孝、前田 健、山崎正志、山下敏彦

【早退した理事】島田洋一

【欠席した理事】竹下克志、永島英樹

【出席した監事】加藤文彦、松永俊二

【議事の経過の要領及びその結果】

田口敏彦理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

審議・決議事項

1. 会員審査（1～2 月分）

島田理事が、1～2 月の会員審査結果を示し、承認を求めた。一同検討の結果、全員を承認した。

2. メンバースhip・コンプライアンス委員会より：海外会員の入会フォームについて

メンバースhip・コンプライアンス委員会が作成、検討した「海外会員の入会フォーム」案を提示した。一同検討の結果、承認した。

3. 大正富山 AWARD 選考委員会より：大正富山 AWARD 受賞者の件

島田理事が、選考した以下の 2 名の大正富山 AWARD 受賞者について承認を求めた。一同検討の結果、満場一致で承認した。

臨床 中島 宏彰（江南厚生病院）

論文名：Comparison of Outcomes of Surgical Treatment for Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament Versus Other Forms of Degenerative Cervical Myelopathy. J Bone Joint Surg Am.2016,98(5):370-8.

基礎 川端 走野（慶應義塾大学病院）

論文名：Grafted Human iPS Cell-Derived Oligodendrocyte Precursor Cells Contribute to Robust Remyelination of Demyelinated Axons after Spinal Cord Injury. Stem Cell Reports,2016 Jan 12;6(1):1-8

4. 名誉会員の推薦

田口理事長が、名誉会員として高橋和久先生、戸山芳昭先生、持田譲治先生の3名を評議員会に推薦することを提案した。各理事は、慎重に審議し、一同了解した。また、定款等検討委員会にて現状「名誉会員選出についての申し合わせ」内で定めている、理事長・会長経験者の名誉会員への推挙を規程化することを決議した。

5. 評議員会・会員総会の式次第・庶務報告

大川理事が、評議員会・会員総会の議事次第と庶務報告を提示し、修正等あれば3/31までに大川理事と事務局まで連絡してほしいと依頼し、一同了解した。

6. 新技術評価検証委員会より：頸椎人工椎間板適正使用案について

岩崎理事が、厚労省からの委託業務である「頸椎人工椎間の適正使用基準」を提示し、説明した。一同検討の結果、承認した。

7. 新技術評価検証委員会より：日整会への依頼文について

岩崎理事が、ニューベイシブジャパン社X L I F再開に関するガイドラインについて、日整会への依頼文書を作成したことを報告した。各理事は慎重に審議し、当学会から日整会へ本文書を発送することとした。

8. 専門医制度委員会より：事務局業務委託契約書最終案の件

波呂理事が、脊椎脊髄外科専門医事務局の契約について、日本脊髄外科学会の方でも契約書文面に承認がされたことを報告した。一同検討の結果、満場一致で了解のうえ、承認した。

9. 専門医制度委員会より：試験日程・試験実施に必要な費用の件

波呂理事が、今後の専門医試験の日程について、第1回目は今年11月の脊髄障害医学会、2回目は当学会の学術集会、3回目は脳外科の学術集会中に実施予定であると説明した。また試験に必要な経費については、2/3を当学会が、1/3を脳外科側で負担することが両学会のワーキングで決定していると説明した。ワーキンググループで決定した審査2万円、認定3万円計5万円の受験料について審議の上、了承した。

10. 英文誌編集委員会より：会員・非会員識別のための会員名・IDの杏林社提供について

根尾理事が、英文誌作成にあたって、会員・非会員識別のための会員名・IDを編集局である杏林舎に提供することについて承認を求めた。一同検討の結果承認した。

11. 英文誌編集委員会より：バナー広告の可否について

根尾理事が、英文誌のページにバナーを掲載する件について可否を求めた。田口理事長が、掲載するバナーの内容については委員会に一任したいと発言し、一同賛成した。

12. 英文誌編集委員会より：新評議員の義務と資格について

根尾理事が、新評議員登用の際に、評議員になれば『SSRR』査読は義務とすることを定めてはどうかと提案した。一同検討の上、賛同した。一方、評議員の更新における査読の義務化については、英文誌編集委員会で検討し、その決定を理事会に報告のうえ、義務化することになった場合は、総会や学会誌ならびにHPへ掲載して告知していくことになった。

13. 財務委員会より：平成 29 年度予算案の件

山崎理事が、平成 28 年度決算の内容および 29 年度の予算案を説明した。平成 28 年度決算に関して松永監事より、財務が適正に処理されていたと監査報告がなされた。29 年度の予算案は審議の上承認された。

14. データベース委員会より：アドバイザー追加の件

種市理事が、データベース委員会へ法務面、特に個人情報やレセプト情報等に詳しい医師であるアドバイザー追加について提起した。一同検討の結果、満場一致で承認した。

審議・報告事項

1. 後援の規定について

理事会にて倫理委員会に要請していた後援の方法について、一同検討の結果、日整会と同様の方法で後援の可否を決定することを承認した。担当を徳橋副理事長に依頼し、徳橋副理事長が了解した。

2. 定款等検討委員会より：指導医規定の修正の件

徳橋副理事長が、理事会から定款等検討委員会に依頼していた指導医規定修正案を提示した。一同検討の結果、承認となり、以下の二重線部分を追記することになった。

(資格審査の方法)

第 8 条 5. 脊椎脊髄に関連した業績が 5 編以上あること (学会発表、講演、論文、著書など：共著可)。

改定案 5. 脊椎脊髄疾患に関連する業績として、5 つ以上の学会発表あるいは学術論文があること。ただし、5 つの業績のうち少なくとも一つは、筆頭発表者か筆頭著者でなくてはならない。

3. 学術集会プログラム等検討委員会より：議事録の件 (活動報告)

徳橋副理事長が、1 月 19 日に行われた学術集会プログラム等検討委員会の議事録について報告した。また、学術集会での出展についての請求方法を議論し、徳橋副理事長から今年度学会長である島田

理事と運営事務局のコングレにその内容を伝えることになった。

4. 委員会報告資料確認

大川理事が、評議員会資料となる委員会報告資料を提示した。修正がある場合は3月31日までに大川理事と事務局まで連絡することを確認した。

5. ICD-11 開発にかかる WHO からの加盟国への意見募集について

大川理事が、医学会分科会宛に連絡のあった ICD-11 開発にかかる WHO からの加盟国への意見募集について説明した。本件についての意見を大川理事まで寄せることとなった。

6. 海外からの入会上の問題点

大川理事が、英文誌等の発刊、海外からの支払、以前は利用できた当学会 HP のマイページの復活ならびに会費支払の利便性などを考慮して、毎日学術フォーラムでクレジットカード機能のついた会員システムを構築してはどうかと提案した。コストが以前よりも格安であることに加え、カード決済機能がプラスされることが利点として大きいと説明した。一同検討の結果、導入する方向で検討を進めることになった。

7. 専門医制度委員会より：基幹研修施設審査 結果報告

波呂理事が承認された脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設のリストを提示した。一同リストを確認した。理事会終了後、承認された施設へは認定証を発送し、脊椎脊髄外科専門医の HP 上には、承認施設のリストも掲載予定で準備を進めているとの報告がなされた。

8. 専門医制度委員会より：試験問題集カバー、受験申込書の件

波呂理事が、専門医試験で使用する問題集のカバーや書籍に添付されている「受験申込書」を提示した。また完成した書籍を回覧した。

9. 倫理委員会より：委員会報告（活動報告）

松永監事が、2月24日に行った日本脊椎インストゥルメンテーション学会依頼の倫理審査について報告した。4月の学術集会中に、倫理委員会の宗像顧問弁護士からの個人情報保護法改訂についてのレクチャーを予定しているため、その後結論を出す予定であると報告した。またL I Fの継続調査についても同様の予定であると補足した。

10. 財務委員会より：平成28年度決算の件

審議・決議事項13にて報告済み。

11. データベース委員会より：委員長を含めた委員会構成

種市理事が、前回の理事会で承認されたデータベース委員会メンバーで互選の結果、委員長を岩崎

理事に決定したと報告した。

12. データベース委員会より：現時点での ACR および胸椎 XLIF の全例登録の進捗状況

種市理事が、ACR および胸椎 XLIF の全例登録については、現在計画書を作成中であり、完成し次第倫理委員会に審議を依頼予定であると報告した。

13. その他

・ JSR 編集委員会より：評議員会での発言について

中村博亮理事が、日本医学雑誌編集者会議のガイドラインにある二次出版についての項目を参考に作成した「JSR 投稿時の選択および付記」について説明し、評議員会の JSR 編集委員会報告にて発言予定であると報告した。

・ 「高難度新規医療技術の導入に当たっての医療安全に関する基本的な考え方」の件

大川理事が、日整会から当学会宛に依頼のあった、脊椎に関する「高難度新規医療技術」を選択し、提示した。意見があれば、月末までに大川理事へ連絡することになった。

・ 次回以降 理事会日程の件

今後の理事会日程について確認した。

以上

平成 29 年 3 月 25 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 田口敏彦

監 事 加藤文彦

監 事 松永俊二